

～コミュニティ・スクールだより No.7～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

今年度も「輝塾」がんばります！（宮原小学校）



宮原小学校では、今年度も毎週木曜日の放課後、CS委員が中心となって「輝塾」を開催しています。昨年度までは5、6年生の希望者を対象としていましたが、今年度は状況に応じて1年生から4年生も声かけをしていきます。児童の中には、自分で学習計画を立てて臨む子もいれば、友達が頑張る姿を見て自習を始める子もいます。多様化する子どもたちに対応する先生方の姿を受け、CS委員は「できることから始めよう」と、子どもたちとのふれあいを楽しみながら活動しています。

第2回竜北西部小学校学校運営協議会 開催（6月19日 竜北西部小学校）



担任の先生も交えて協議

6月19日、竜北西部小学校で第2回学校運営協議会を開催しました。会議の前半では、これまでの活動（ランチミーティング、花いっぱい運動）を振り返りました。各委員からは「児童がとても積極的に活動している」といった報告が多くありました。後半は、各学年の担任も参加し、「CSの日」の午後に行う「ふれあい活動」について、担当学年ごとに分かれて協議しました。先生方と委員が子どもたちの様子や思いを共有し、有意義な活動にするための活発な意見交換が行われました。今後、地域の方々の協力を得ながら、本番に向けた準備を進めていきます。

令和8年度 地域学校協働活動推進員等研修に参加（6月23日 各小中学校CS委員）



活発な
班別協議

6月23日、八代総合庁舎で開催された「令和8年度地域学校協働活動推進員等研修」に、氷川町の各小中学校からCS委員10人が参加しました。この研修は、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向け、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進について共通理解を図ることを目的としています。研修では講話の後、「子ども主体の取組」をテーマに班別協議が行われ、参加者はそれぞれの学校での活動を紹介しました。参加した委員からは「氷川町の良さを改めて感じた」「学んだことを学校に持ち帰り、会議等で共有したい」といった声が聞かれ、実りある研修となったことがうかがえました。